



礎 いしすえ

第52号
2026年(令和8年)
4月

発行/～地域力つなぐ～枚二校区コミュニティ協議会

編集/コミュニティ協議会広報部

体験型「学校防災キャンプ」開催



「居住スペースづくり」で広さを体験

災害はいつ、どこで起こるかわかりません。いざという時、「子どもたちが自分の身を守り地域の大人たちと協力して動けるように」そんな願いを込めて、枚二校区では防災会が小学校と共同し、自治会、民生児童委員会、PTAと共に、実践的な「防災キャンプ」を枚方市の依頼に応じて開催しています。全学年の児童とその保護者対象に2月28日枚方第二小学校で開催しました。

訓練は「一時退避場所」からスタート

当日は、各地区の「一時退避場所」

に児童と保護者、地域役員が集合。各自治会と連絡を取るために、学校の基地局で待機しながら、人数の確認や避難経路の安全性を確認しました。ただ歩くだけでなく、実際の避難ルートを自分の足で確かめる貴重な体験となりました。



一時退避場所から揃って学校へ移動

災害時の「食」を体験

最後は、アルファ米とレトルトカレーの調理・実食を行いました。お湯だけで完成する非常食の味に、子ども達からは「美味しいー」と驚きの声が上がりました。

参加した児童には、携帯トイレや保存食など防災グッズが配布されました。今回のキャンプをきっかけに、ぜひご家庭でも「我が家の防災」について話し合ってみてください。

体験で学ぶ 3つの防災プログラム

① 居住スペースづくり

② 防災倉庫見学

③ 防災グッズビンゴ

避難所でのプライバシーを守る区切り方や簡易ベッドの組み立てに挑戦

物資を確認し、ポータブル電源の操作を体験
備品を倉庫から体育館までの運搬お手伝い

「なぜそのグッズを選んだの?」と話し合いながら、防災知識を深めるゲーム



アルファ米とは、炊いたご飯を急速乾燥させ長期保存可能にした「乾燥米」お湯や水を注ぐだけで、食べれる非常食です

お住まいの地区 「一時退避場所」 ご存じですか？

さいがいじ いっときたいひばじょ 災害時 一時退避場所マップ

地震や火災などの災害発生直後、身の安全を確保するために一時的に集合・避難する広場です。避難所へ移動するまでの危険回避場所となります。

 災害時避難場所



総合文化センター別館 (旧・メセナ枚方)

総合福祉会館
ラポールひらかた

新町：新町会館 通路付近

岡東町：T-site 正面入口前

新町：小規模公園

川原町：小規模公園

岡本町：岡本町公園

大垣内町：大垣内集会所

岡南町：ゲートボール場横 広場

東田宮・大垣内町 3丁目
：あんご公園

朝日丘町：小規模公園
(サンメゾン枚方朝日丘かえで館横)

岡山手町：坊主池公園

西田宮町：ちびっこ広場

田宮本町・西田宮町
小規模公園 (パンダ公園)

田宮本町・西田宮町：田宮公民館

田宮本町：小規模公園 (チュリス前)

淀川河川公園
広域避難地

関西医科大学
関西医科大学
付属枚方病院

ピオルネ

岡本町公園

岡東公園

うみのほし幼稚園

三ツベパーク岡東中央

枚方市役所

郵便局
消防署

枚方警察署

サンメゾン枚方
ヒルズアイ

サンメゾン枚方朝日丘
かえで館

枚方保育所
あんご公園

枚方高等学校

坊主池公園

枚方中学校

枚方第二小学校

チュリス枚方田宮本町



コミュニティスクール推進事業

「すべての子どもにひらかれた学校図書館へ」



司書の田邊先生。小学校での「りんごのたな」の設置は枚方市内で枚二小が初めてです

枚方第二小の学校運営協議会(コミュニティスクール)では学校図書館の充実に取り組んできました。蔵書や利用の増加に加え、令和7年度は「読書バリアフリー」の取り組みを推進しました。誰もが本に親しめる環境づくりとはどのようなものか。令和7年度より枚方第二小学校を担当する学校司書の田邊さおり先生にお話を伺いました。



レリーフブックは点字と盛り上げ印刷により指で触れて楽しめる仕様

LLブックはやさしい文章や写真で構成されているのが特徴

「読みたい！」が
あふれる図書館へ

休み時間の図書館利用がとても多いことに驚いたという学校司書の田邊先生。コミュニティスクールとして図書館整備や蔵書の充実を進めた結果、市内トップクラスの貸し出し数を実現。1人2冊の貸し出しや、繰り返し借りる児童の姿から、子どもたちの高い読書意欲がうかがえます。

「りんごのたな」
の設置

こうした基盤の上に新たに取り組んだのが「読書バリアフリー」です。コミュニティスクールから選書と構成を依頼し、すべての児童に読書の喜びを体験してもらうことを目的とした「りんごのたな」が設置されました。点字の本(レリーフブック)やLLブック文字の少ない写真中心の本などが並びます。

広がる読書の入口

「図書館はすべての人に開かれた場であり、読むことの形は文字だけではない。その多様性を子どもたちに伝えたい」その考えのもと、点字本など多様な資料を導入しました。点字本は授業過程での学びとして活用され、「おもしろい」「触って楽しい」と児童にも好評です。また、文字が苦手な児童も写真などから読書に親しめるよう工夫しています。「まずは『楽しい』と感じることを大切に」との思いで、一人ひとりに合った読書の入口を広げています。



読書バリアフリーの本はリンゴが目印になっています

寒さを吹き飛ばせ！

「枚二マラソン」

2月7日、淀川河川敷にて枚二小の児童を対象としたマラソン大会が開催されました。1~1.5キロのコースを学年ごとに元気いっぱい走り抜きました。最後には4人1組の駅伝形式でのリレーも行われ、健やかな成長と、挑戦する心を育む素晴らしい一日となりました。



松井茂夫さん

市からボランティア表彰

長年に及ぶ社会的功績を認めた枚方市ボランティア表彰式が1月20日にあり、枚二からは岡本町の松井茂夫さんが受賞しました。松井さんは、長期にわたって登校班の集合



市長と右は市議会議員

から小学校の校門近くまで児童に付き添い、見守り活動に貢献されています。松井さんは「これからも可能な限り、通学の見守りを続けていきたい」と話しています。

シリーズ
町内の活動を紹介

子ども会と自治会加入促進



まちの話題

岡南町の子ども会では、毎年クリスマス会を開いて家庭訪問などをし、地域の人との交流を図っています。また自治会と共同で、自治会・子ども会加入促進のためのポスターを作成し、それぞれの活動に理解を深めてもらう取り組みをしています。



掲示板上に岡南自治会加入のポスター掲載中

冬の風物詩

地域ぐるみの火災予防

年末恒例の拍子木の音とともに「火の用心」と呼びかける夜回りが各自治会で、12月20~29日にかけて実施されました。火災予防とともに年末特別警戒として地域の安全を守る活動となっています。



編集後記

礎52号



枚方市が実施する「令和7年度枚方市機関紙コンクール」に当団体の機関紙「礎」がコミュニケーション・自治会部門優秀賞に選ばれました。「大きな写真や工夫ある見出しで読みやすい」との心強い講評をいただきました。一方で、見出しの整理など、広報の基本における改善点も明確になりました。今後は、「若い世代への継承」を軸に、基本を大切にしながら、より地域に根差し、親しまれる誌面づくりやホームページを利用した広報活動に邁進してまいります。